信州教師塾B 第1回 会話や対話の見える化

~グラフィックを使いながら~

信濃教育会との共催事業として今年度新たに始まった「信州教師塾B」の1回目研修会が、10月19日 (火)、上伊那教育会館講堂に30名の受講者が集い行われました。

今回のテーマは「会話や対話の見える化~グラフィックを使いながら~」。講師には、グラフィッククラブの土岐俊様、西澤智美様、岡美絵様をお迎えしました。

講師のグラフィックを参考に、グループで話し合ったり、それぞれでグラフィックを描いたり、終始和 やかな雰囲気の研修となりました。

次回は、12月20日(月)「コミュニケーション力」をテーマに開催する予定です。多くの先生方にご 参加いただけますようお願い申し上げます。

《受講者の感想》

グラフィックを通して、コミュニケーションの本質を考えさせられました。文字や会話の方法だけでなく、誰もが見てもわかりやすい「絵」という表現を用いることによって、さらに表現の幅が広がり、会話の楽しさを感じることができるのではないかと考えました。

グループワークを通じて、相手とのコミュニケーションの中でたくさん使える場面があることに気付かされました。私にとって大きな発見でした。今、担任している小学校2年生に明日から早速使ってみたいと思いました。

1時間半があっという間でした。やはり絵があったり、枠でまとめられたりしていると、分かりやすく「す~っと」頭に入ってきました。そして何より「ワクワク」して楽しかったです。今後もこういう研修を受けられたら嬉しいです。

《研修の様子》











<当日のグラフィック>



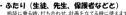
《当日の資料 抜粋》





☆活用の場面

ひとり(自分) 自分の考え、気持ちを整理することができます。
メモ、受講する研修会の記録など、 文字だけよりも記憶に残ります。



ふたり(生徒、先生、保護者などと)相談に乗る時、打ち合わせ、計画を立てら時に使えます。 相談に乗る時、打ち合わせ、計画を立てら時に使えます。 相手に伝える。おいずらいとこ間をづらいことも伝えやすくなります。 お互いの整理にも使うことができます。

 3人以上 打ち合わせ、会議などで使うことにより、全体を見渡すことができ 引ら合わせ、安議などで使うことにより、全体を見渡すことができ、 結議総合合わせれることで、自分を考えの違いを発見しやすなむります。 お互いの理解を深めるための、共適言語として働きます。 参加できなかった人にも、写真を撮って送ることで短時間で全体像 を伝えることが出来ます。







⇒対話が活性化し、主体的に 話の内容を示すことで、「今、何を話しているか」、 「自分の認識が合っているか」など、確認しやすくなり、 現在地が確認できます。

話が整理され、話をしている者同士の意識がそろい、 相互理解が深まる。話し合いのズレが生まれにくくなります。

⇒個人への感情から、話し合いの内容へ 発信者と発言を切り離すこととで、内容に対して発言すること ができます。

講座の案内

- 1. 見える化ってどんなこと?
- 2. 「学校現場でどう使う?」(グループワーク)
- 3. 描いてみよう!!
- 4. なぜグラフィック?
- 5.まとめ



2. 「学校現場でどう使う?」 (グループワーク)

テーマ:校内における様々なコミュニケーションの

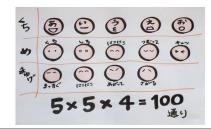
時 間:10分



方 法:3人でグループになり、 意見交換をします



(1) 顔の表情を描く



(3) ポイント



上手な絵ではなく、アイコンを描く

言葉+人・アイコン+気持ち・雰囲気

・まずはメモ、ノートで単語や短い文章を描いてみる

(2) 見える化の手法

- グラフィックレコーディング 全体像を記録するすることで、議論の促進を狙います。 成果物は、記録物、絵!
- ・グラフィックファシリテーション 議論を促進するために、記録を活用します。 成果物は、話し合いの場そのものです!!
- ⇒<u>どちらも話し合いをグラフィックで見える化することで、</u> 相互理解を促します